



Innovation for the Rotary club ローターリーに新風を

11月のロータリーレートは、1ドル=78円

ガバナーからの手紙

11月17日(木) 世界の大学考 〈東京大学の試み〉 その1



2007年、43才の若さでカリフォルニア大学バークレイ校教授から「数物連帯字面研究機構」(IPMU)のトップに就いた村上斉機構長は、年収が東京総長より高い3000万円であることが話題になっているが、これはと言う人物を招くに必要な投資である。世界から頭脳を招こうとしても住宅や子供の教育環境など、快適に生活できる条件を整えないと来てくれない。その為IPMUの事務職員も半数以上がバイリンガルである。

IPMUは、素粒子物理学や数学、天文学の力を結集して「宇宙の謎」に迫ろうと2007年10月に設立された。

数学と物理という二つのアプローチから宇宙の起源や進化を解明しようという世界的にも類を見ないユニークな研究所だ。最先端領域は高度に専門化し、学問の分化が進んでいた。

だが、宇宙の謎を解くには、高度な数学による表現が必要になる。

一方で、物理学の成果からアイデアを得て新たな数学が生まれる状況もある。

数学と物理はもともと隣接する分野で、素粒子物理学は数学と協働すべきという認識を科学者達はもっていた。そこがIPMUの設立の狙いだという。そして、専門分野の異なる研究者が交わることで、アイデアが生まれる効用があるという。素粒子の一つであるニュートリノを観測するスーパーカミオカンデや大型光学赤外線望遠鏡のすばる望遠鏡で知られるように、日本は素粒子物理学の実験分野で世界の先端を走る。豊富な実験データを揃えることは研究者達にとって魅力である。

しかし、それだけでは世界のトップクラスの研究者が日本に来てくれるわけではない。優秀な研究者を獲得しようと、世界の研究機関が争奪戦を繰り広げている。経済と同様、研究者にとって国境の壁が低くなった今、グローバルマーケットで人を集め結果を出さないと、世界の最先端分野で戦えない。それは、東京大学全般に言えることだが、巨大組織を一気に変えることは難しい。IPMUが成功例となつと徐々に変えていくことになる。

クラブ例会予定

2011-2012年度

10/29/30 地区大会

11/3 休会(法定休日)

11/10 坂野光俊様(星陵大学学長)

11/17 黒川伸一様(地区R財団副委員長)

11/24 六反田英一(アールイーエー社長)

「絵について思うこと」

12/1 年次総会

12/8(木)慰労親睦例会 湯涌温泉 湯の出

12/15 平口泰夫様(平口泰夫建築研究所所長)

12/22 年忘れ家族例会 於:招龍亭

2011~2012

(役員) 会長:西村邦雄 エト:北山吉明 副会長:野城 勲 幹事:魏 賢任 副幹事:宮永満祐美

前会長 藤間勘菊一 会計:竹田敬一郎 SAA:若狭 豊

(理事) クラブ管理運営委員長:村田祐一 副:上杉輝子(親睦:上杉輝子 プログラム:杵屋喜三以満

SAA:若狭豊 ニコニコ:土田初子 友好・クラブ細則:藤間勘菊 奉仕プロジェクト委員長:多田利明

副:後出博敏(職業:申 東奎 社会:若狭豊 国際:藤間勘菊 ラオスITセンタープロジェクト:炭谷亮一)

会員組織委員長:金沂秀 副:相良光貞(会員増強修練:二木秀樹)

ロータリー財団委員長:木場紀子 副:江守道子(ロータリー財団・米山:吉田昭生 年次寄付:西村邦雄)

広報委員会委員長:永原源八郎 副:谷伊津子(広報:東海林也令子 ロータリー情報:大沼俊昭

会報:石丸幹夫)

常任理事:石丸幹夫

★太字:理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州:金 石丸 申 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央:炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間 京都北東:炭谷 杵屋 水野 高崎:石丸 村田祐一 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 相川晶代

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 10:00~16:00 木 15:00~20:30 休憩時間 12:00~13:00 休日 土日祝日



例会優り

626回 例会
 ホテル日航 5F
 2011 11.17 (木) 19:00
 出席率 21/38 55.26%
 10月の修正出席率 93.92%

点 鐘

SONG 『R-O-T-A-R-Y』
 四つのテスト

西村邦雄会長：10月29日30日の地区大会、無事終了しました。ありがとうございました。会員の皆様が、それぞれの担当部署で、全力をを尽くされた結果だと感謝しています。勝手な憶測なのですが、他クラブからは、随分うまくやり通せたと評価されているものと考えています。ありがとうございました。



会場を飾る東京スカイツリー模型
 東京世田谷中央 RC
 よりいただきました

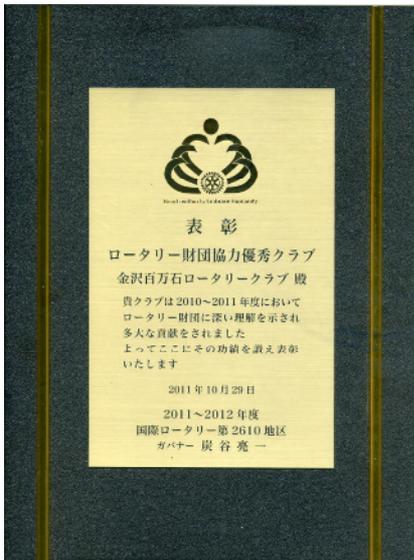
ゲスト紹介 (卓話者) 坂野光俊 (さかの みつとし) 先生 (金沢星陵大学 学長) 杵屋喜澄様
 今月の誕生者の紹介 1日生 水野陽子会員 4日 東海林也令子会員 27日炭谷亮一会員
 皆出席顕彰*通算皆出席 33 カ年 石丸幹夫 会員 *通算皆出席 13 カ年 金 沂秀 会員



炭谷亮一ガバナー：地区大会のお礼とクラブ表彰



33年間皆出席の石丸幹夫会員



地区からの表彰

2010-2011 年度 会長賞

2010-2011 年度 会員増強・拡大賞

2010-2011 年度 ロータリー財団協力優秀クラブ賞



幹事報告・委員会報告

上杉親睦委員長「地区大会慰労会 (例会)」のご案内

地区大会を無事終了することが出来ました。本当に感謝申し上げます。大変お疲れのことと思います。お手伝いいただいたご家族の方も是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。日時 2011年12月8日(木) 19時 湯涌温泉 旅館「湯の出」 湯涌荒屋 77-2 TEL076-235-1016 申込み 11月30日(水) ※“あらばしりの会”も兼ねますので、美酒のお持ち寄りをお待ちしています。



魏賢任幹事 「金沢8RC新年合同例会」のご案内

金沢8RC新年合同例会を金沢みなとロータリークラブのホストにより開催致します。全員登録とし、8RC新年会の合同会計が残高不足により会費500円の値上げを承諾いたしました。準備の都合により、下記にてご都合をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。



ニコニコ BOX

¥26,000- 本年度 ¥242,000- 残高 ¥3,513,510-



西村会長 地区大会皆様、有難うございました。皆様が一丸となって頑張った結果だと思っています。**魏幹事** 皆様こんばんは。地区大会大変お疲れ様でした。皆様のおかげ様でとても成功したと思います。公私ともに感謝しております。坂野先生のお話を楽しみにしております。**炭谷ガバナー** 魏さん、本日北國新聞の紙面を飾りましたね。**石丸会員** どうやら33年皆出席しました。健康に感謝、みんなに感謝です。講話に坂野先生をお迎えしまして。**上杉会員** 地区大会大成功で本当にお疲れ様でした。坂野学長、本日のお話宜しくお願ひ致します。**木場会員** 地区大会、村田、後出、二木令夫人に大変お世話になり有難うございました。李曉燕さん、11月7日に無事博士号合格しました。ありがとうございました。**杵屋会員** 地区大会本当にお疲れ様でした。大成功で嬉しく思いました。百万石RCすごい！坂野学長、お話楽しみにしております。**東海林会員** 地区大会お疲れ様でした。**藤間会員** 地区大会成功でした。坂野先生、ようこそ。卓話楽しみにいたしています。**水野会員** 地区大会無事終えてよかったです。皆様、お疲れ様でした。**宮永会員** 地区大会お疲れ様でした。いろいろ反省はありますが、大きな事故やミスがなく終了でき感謝です。**土田会員** 先日の地区大会お疲れ様でした。大成功でした。本日坂野先生卓話よろしくお願ひします。豊中物産社長 魏賢任様 『常に最高の手前にいたい』見習いたいです。

講話の時間

大学をめぐる最近の状況～金沢星稜大学の現況にもふれて～

金沢星稜大学学長 坂野光俊（さかの みつとし）先生



I. わが国の最近の大学事情：高等教育産業の現状と課題

1. 大衆化段階からユニバーサル化段階に至った高等教育・大学等

(1) 高等教育機関への入学者数等の増加及び同一年齢層内での比率上昇

①高学歴化の進行、同年齢層に中での大学生比率の上昇（国際比較で高くはない）。

②誰もが大学に進学する。非エリート化：質維持の困難化（産業界や欧米から注文・批判）

(2) 中教審答申：①個性化・特色発揮・独自化（大学の7機能：世界的研究・教員拠点、高度専門職業人養成、総合的教養教育、特定専門分野の教育・研究、地域の生涯学習拠点、社会貢献）、②大卒者の質保証、③初年次教育・キャリア教育による社会人基礎力養成

2. 高等教育産業・大学業界の直面している困難・課題：上記の(2)の他に

(1) 問題点：①勉強しない学生、②密度の低い教育、③担当コマ数の多い教員、

④革新が生じない大学教育管理運営システム

(2) 少子化・18歳人口の減少：①大学進学母体層・高校卒業生の減少、②影響は大都市圏大規模大学と地方中小規模大学との間で不均等に発生（地域と分野により差）、③国立大学の定員維持や大規模大学の定員拡充政策の下での地方私大の競争条件の劣化、④全志願者が大都市圏に進学するわけではなく一定数は地元で進学（自県内進学率の漸増）、⑤限られた進学希望層を地元中小規模大学の間で「獲得する」激しい競争。

(3) 日本の高等教育の特殊構造からの脱却の必要：①18歳人口偏重の入学政策：社会人や継続教育の割合の低さ、②国際化（外国人留学生受入）の低さ（外国への留学派遣も少ない）：国際比較でのわが国の異常な低さ。

③学位授与以外の多様な学習ニーズ活用の必要生

II. 金沢星稜大学の場合について

1. 入学場面での変遷：定員割れ・全入への陥落とその克服の経過について

(1) 志願者の激減と実質全入・無試験状態への陥落：1990年代半ばから2004年度まで

(2) 2005年度からの「奇跡的」な志願者増と「進学校」からの受験者・入学者の増加

(3) その要因：①適切な教育目標設定（自律した職業人の育成）と「自分を超越する力をつける」、②その仕組み：ダブルゼミ等正課授業改革とエクステンション講座での資格取得等

(4) セールスポイント：①CDP、②ほしたび、③SJP、④短期留学プロジェクト

2. 現在及び今後の困難・課題

(1) 県内高卒者の漸減傾向の下での入学者の地元集中：この砕からの脱却の必要生

上由I 2 (2)の他に、全国型大学への転換という選択肢（これは容易ではない）。

(2) 学力向上・人間力向上路線へのバリアー：受験者の上位校シフトが入学者に結合しない。

(3) 地元の高等教育機関において欠落している分野を開拓する。その条件があるか？

(4) 社会人基礎力と(2タイプの学びで)思考力・創造力をもつ職業人を養成することが基本。

結び：1. 今日のわが国で大学を論ずる意味：①グローバル知識基盤社会での人材養成問題、

②新しい産業構造の構築：国際競争力をもった「新産業」を生み出す問題。

2. 地域的意義：個性的な複数の大学による多様な学びニーズの充足で「学都」化は促進される。

3. 「教育大学」の新しい在り方（ビジネスモデル）を確立する各大学の努力が極めて重要。

18歳人口と進学率等の推移（平成元年以降）で18歳人口は減少が著しいが収容力は100%に達していない。大学卒の就職状況もS40年から減るばかり。あと金沢星稜大学の主要入学関連統計を示された。

点 鐘